

**春野鶴子** 消費者運動家。若くして中国で活躍、<敗戦>で引揚げ後、奥むめおに共鳴し、主婦連の先頭に立った。

はるのつるこ

21ヶ条要求・1915 = 長崎市に生れる。本名ツル子。

**原敬首相暗殺**1921 = 6歳 :

護憲三派圧勝1924 = **9歳** :

**満州事変**・・1931 = 16歳 :

国際連盟脱退1933 = **18歳** :

帝人疑獄事件1934 = 19歳 : 長崎女子師範学校卒業。約1年間教職についたのち、

芥川直木賞始1935 = 20歳 : 上京、喫茶店の女給の監督・家庭教師などをつとめる。

**日中戦争始**・1937 = 22歳 :

健保+総動員 1938 = 23歳 : 上海に渡り,

大政翼賛会・1940 = 25歳 : 上海中日婦女連合会を創立、理事長となり、月刊{婦人大陸}の編集などにあたる。

**日米開戦**・・1941 = 26歳 :

・・・・・1942 = **27歳** :

**敗戦**・・・・1945 = 30歳 : 敗戦後約半年、中国の民兵組織に参加し、その間易学を学ぶ。

新憲法公布・1946 = 31歳 : 引揚げ、{新夕刊}{婦人新聞}記者・新日本婦人同盟役員となる。

極東裁判決・1948 = 33歳 : \*奥むめおの提唱による主婦連合会が結成されると、記者として会長を取材するうちに'台所はすべて政治につながる'という奥むめおの思想に共鳴し、

**独立回復**・・1951 = **36歳** :

**55年体制始**・1955 = 40歳 : 「誰にもできる運勢判断」。**\*主婦連政治部長から、**

なべ底不況・1957 = 42歳 : **\*副会長に就任。**

**イヌカトラメ**・1958 = 43歳 : 「私は中国の兵隊だった」,

**安保闘争**・・1960 = **45歳** :

全共闘・・・1969 = **54歳** :

**ドルショック**・・1971 = 56歳 : 「太陽は毎朝昇る」,

**日中国交回復**1972 = 57歳 : ストックホルムで開かれた国際消費者機構(10CU)の第7回世界大会に出席。

**石油ショック**1973 = 58歳 :

米価審議会委員をはじめ、政府機関の各種委員を歴任し、一貫して消費者の立場から発言し続け、消費者の権利確立の推進役となった。生涯独身を通し、陳情やデモでは、上海時代からの男装・男髪姿で、つねに先頭に立つ女闘士であった。

成田衝突・・1978 = **63歳** :

・・・・・1981 = 66歳 : 没した。

「日本の女性」,